

学習用インバータ

KENTAC 3010 ~ 12
KENTAC 3310 ~ 12

CPU基板 KENTAC13500
50V, 150V, 350V用3機種あり

インバータ単体には下記の3機種あります。

学習用インバータは使用電圧・CPUボード搭載か否かによる型式の違いにより以下のシステムが有ります

入 力	インバータ+CPUボード+制御電源	インバータ単体+制御電源
DC50V	DC50Vインバータ KENTAC 3310	DC50Vインバータ KENTAC 3010
DC150V	DC150Vインバータ KENTAC 3311	DC150Vインバータ KENTAC 3011
DC350V	DC350Vインバータ KENTAC 3312	DC350Vインバータ KENTAC 3012

インバータの仕様

インバータ+制御電源：KENTAC 3010 ~ 12

FET 入力電圧により使用FETは異なります。
FETドライバ フォトカプラ(TLP250) × 6個
電流センサ HX10-P(LEM)
DCライン, U, V相 合計3個
最大計測電流10A

制御電源

: KENTAC 3015付

過電圧保護機能

: 設定過電圧以上でFET ON
(外部抵抗は付いていません)

接続CPUボード

: 当社製13500, 13600はワンタッチで接続可能
他社製でもコネクタ関の信号を合わせていただければ可能
コネクタ信号
CPUより6bitのPWM出力
電流信号等

標準ヒートシンク

: 約98 × 100 × 16mm

シリアル通信 RS232C

CPUボード

: CPU SH7047 (SH2)

(KENTAC 13500)

A/D 内部10bit 8ch

P41参照

D/A シリアル4Ch 12bit

書き込み RS232C

メモリ EEPROM 256kB

RAM 12kB

制御用電源

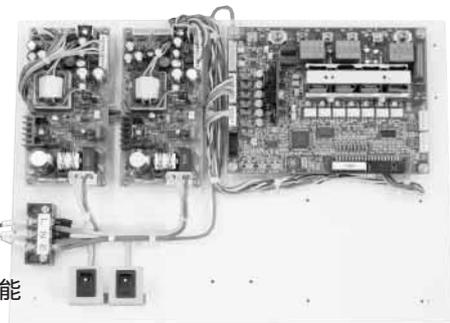
: KENTAC 3015参照

ベース板寸法

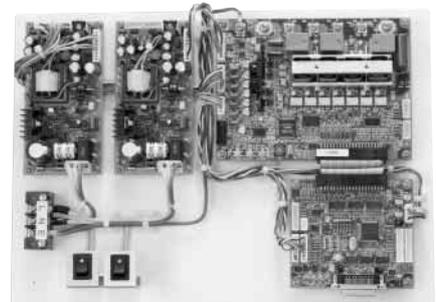
: 約350 × 250 × 8mm塩ビ板

サンプルプログラム

: 以下の簡単なサンプルプログラムを提供
ホール素子付ブラシレスDCモータ駆動例
エンコーダ付ブラシレスDCモータ駆動例
(ベクトル制御・電流制御等含みません)



KENTAC 3010 (インバータ単体+制御電源)



KENTAC 3310 (CPUボード付)

インバータアーム用電源

KENTAC 3015

入力電圧: AC100V ~ 240V

出力電圧: DC16V × 4 (0.1A), ±15V × 1 (0.1A)

5V × 1 (1A), 22V × 1 (0.1A)

出力コネクタ: 5ピン × 2, 10ピン × 1

単体寸法: 約135 × 65 × 32 (mm)

インバータに必要な電源を装備
入力範囲が広い (AC100 ~ 240V)

